

岡倉天心没後100年記念

近代から現代へ

日本画の巨匠たち

名作でたどる日本美術院のあゆみ



平成24年 2012年 8月21日〔火〕〜9月23日〔日〕

◆開館時間／8月は9時30分〜19時30分／9月は9時30分〜17時30分
◆休館日／月曜休館（9月17日〔月・祝〕は開館し、9月18日〔火〕は休館）
※ただし日曜日は17時30分開館
※入館は開館の30分前まで

会期中展示替えを予定していますので、事前にお確かめの上、ご来場ください。

福岡市美術館
Fukuoka Art Museum

横山大観《流燈》茨城県近代美術館 展示期間／2012年8月21日〔火〕から9月2日〔日〕まで

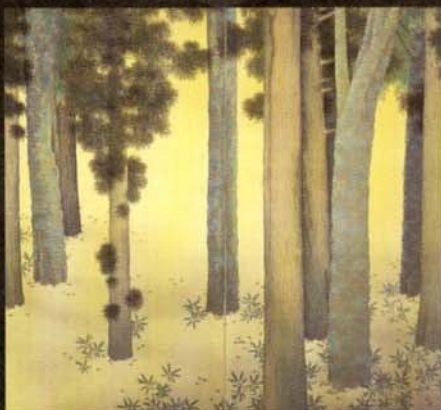
永遠の美を花開かせた俊英たち。

横山大観
菱田春草
下村観山
今村紫紅
速水御舟
平山郁夫
ほか

近代から現代へ 日本画の巨匠たち 名作でたどる日本美術院のあゆみ



安田寛彦(車弥呼) 滋賀県立近代美術館



菱田春草(落葉) 滋賀県立近代美術館



速水御舟(洛北修学院村) 滋賀県立近代美術館



横山大観(臘月) 福岡市美術館



平柳田中(天心先生像) 日本美術院

日本画の傑作、 全国から福岡へ集う。

日本美術院を創設した男、岡倉天心。彼はフェノロサとともに東京美術学校の創設に尽力するなど日本近代美術の礎を築きました。名著『茶の本』などの代表的な著作がまずは英語で出版されたことから分かる通り、世界的視野に基づく思想を持った天心は、日本の近代美術を牽引する稀有な指導者であったと言えます。横山大観や菱田春草といった若き日の巨匠たちは、天心の理想に深く共感し、日本画の革新を求めて切磋琢磨しました。本展覧会は、天心の没後100年を目前に控えたこの機に、珠玉の名作によって日本美術院のあゆみを回顧しようとする試みです。

明治31(1898)年、岡倉天心は日本美術院の創立を宣言します。新築間もない谷中(東京都台東区)には、横山大観、菱田春草、下村観山をはじめ天心を慕う俊秀が移り住み、制作に明け暮れました。日本美術の新たな伝統を創り出すという理想に燃えた、日本美術院の誕生です。

歴史に名を残す巨匠たちにも、不遇に堪える時期がありました。明治39(1906)年、天心以下美術院の画家たちは、経営難を背景に五浦(茨城県北茨城市)への移住を余儀なくされました。横山大観(『流燈』)などの傑作は、実はこの時期に描かれているのです。

天心の没後一周忌となる大正3(1914)年に再興された日本美術院には、大観、観山らに加えて今村紫紅や安田鞠彦など気鋭の若手画家が集い、個性的な表現が追求されました。片岡球子や平山郁夫など、日本美術院に集った現代の巨匠たちの作品もまた、時を超え受け継がれる日本画の精神を語ります。

きら星の如き名作が、福岡の地で一堂に会するまたとない機会となるでしょう。

- ◆主催 / 福岡市美術館、西日本新聞社、テレビ西日本、TVQ九州放送
- ◆協力 / 日本美術院
- ◆観覧料 / 一般1,300円(1,100円)、高大生800円(600円) 小中生500円(300円)

※()内は前売り、20人以上の団体および満65歳以上の方の割引料金。満65歳以上の方はチケット購入時に年齢がわかるもの(健康保険証・運転免許証等)をご提示ください。 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1人は無料。 ※前売り券は2012年5月上旬から主要プレイガイドで発売予定。

福岡市美術館
Fukuoka Art Museum
福岡市中央区大濠公園1-6 TEL 092-714-6051
<http://www.fukuoka-art-museum.jp>



〈地下鉄〉 空港線 / 福岡空港駅から15分、博多駅から10分、天神駅から5分で大濠公園駅下車、3・6番出口より徒歩10分。
七隈線 / 天神南駅から8分で六本松駅下車、2番出口より徒歩10分。
JR博多駅から / 博多バスターミナル3番・4番乗り場より[系統番号13]で城内・美術館東口下車、徒歩3分、または[系統番号12・113・114・200~208]で赤坂3丁目下車、徒歩5分。
天神から / 協和ビル前より[系統番号13・140]で城内・美術館東口下車、徒歩3分、または[系統番号12]で赤坂3丁目下車、徒歩5分、天神警固神社・三越前より[系統番号6・7・14・113・114・200~208]で赤坂3丁目下車、徒歩5分、[系統番号6・1]でNHK放送センター入口下車、徒歩3分。
〈車〉 福岡空港から30分、博多駅から20分、天神から10分。駐車場(有料)に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。